

# 地震に対する心がまえ

九月一日は  
防災の日

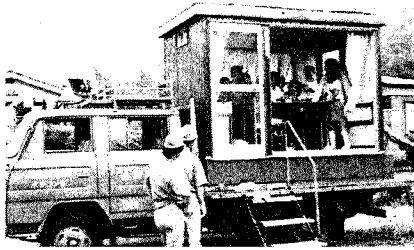
## 防災訓練に参加しましょう

九月一日の防災の日には、山梨県下一斉に防災訓練が実施されます。

本市においても、当日東海地方に大地震発生を想定し、市内全域で訓練を実施します。

今回は宝小学校を主会場として午前九時から実施しますが、主会場の訓練に参加しない機関、団体、家庭においてもそれぞれ訓練計画を立て、午前九時以降の警戒宣言発令のサイレン吹鳴を合図に自主的に訓練を行なってください。

### 起震車に実際に乗って体感



地震災害発生の想定と訓練種目はつぎのとおりです。

### ○地震発生の想定

東海地域に大規模地震が発生するおそれのある異常が発見され、国は警戒宣言を発した。

そして大規模地震が発生し、市内各地に被害が発生した。

(一) 判定会招集連絡報 午前七時頃(国↓県↓市)

(二) 警戒宣言 午前九時頃(国↓県↓市) 諸機関・団体・家庭)

(三) 発災 午前十一時頃

(四) 震源地 東海沖

(五) 地震規模 マグニチュード8

(六) 震度 6

(七) 被害の状況

県下全域に家屋の倒壊、崖崩れ、堤防の欠壊、道路の寸断、通信の途絶等の被害が発生した。都留市内においては火災が多発し、道路、通信、電力、水道、公共建物等の破壊がいちじるしく、被害はさらに拡大しつつある。

市は災害対策本部を設置し、被害状況を収集するとともに応急対策を決定した。

訓練種目	訓練想定	実施機関	実施内容
非常参集訓練	警戒宣言が出そうである	庶務課 消防本部	県から判定会招集連絡が入り次第強化計画による職員の配備及び警戒本部員の参集決定
警戒本部設置訓練	判定会招集の情報とともに地震情報が入り各機関の対策を協議する	庶務課 消防本部 警戒本部員	警戒宣言が発せられた時点から開会 各機関の対応策協議
通信伝達訓練	警戒宣言・地震情報が通報された住民の避難状況・被害発生状況を報告、応援要請	庶務課 市民課 消防本部	県からの情報を受け取り住民に対して通報・避難状況・被害状況等を地方連絡本部を経由し県へ報告
住民情報伝達訓練	警戒宣言・地震情報が通報され2～3日以内に地震が発生しそうである。危険地域の住民に対する避難命令を出した。(避難状況把握) 発災(被害状況把握)	庶務課 市民課 消防本部	県からの情報を住民へ伝達、避難命令・被害状況等を収集・伝達
避難誘導訓練	市長からの避難命令が出されたことにより危険地域住民は指定された避難場所へ避難を開始した。	自治会	消防防災無線通信施設、サイレンにより住民に避難命令伝達代表者は避難状況を本部へ連絡
退避訓練	学校長・園長は警戒宣言が発せられたことにより、児童・生徒に対し校舎内からの退避を命令した	小中学校 幼稚園 保育園	学校長・園長は校内放送により児童・生徒に対し退避命令
炊き出し等の訓練	避難者が多数にのぼり、持参した食糧もなくなったため炊き出しの必要が生じた	福祉事務所	炊き出し作業及び配分作業を行なう
給水訓練	地震発生により、水道施設が破壊され、市民は飲料水確保が出来なくなった	水道課	給水車による配水、ろ水器による水の浄化
防疫訓練	下水施設が破壊され、町内は汚染した。伝染病の発生のおそれが生じたため防疫班が出動した。	保健環境課	防疫活動実施
救助訓練	建物内に人がとじこめられるとともに火災が発生した。早急に救助する必要あり	消防本部	はしご車、レインジャー隊による救助
消火訓練	市内に小火災が発生したため、各自主防災組織は消火作業に出動した	自治会	自主防災組織は初期消火訓練を行なう
	市内各地に火災が発生したため消防本部、消防団は消火作業に出動した	消防本部 消防団	消防本部、消防団は消火訓練を行なう